

第1回次世代育成協議会第二部会（子育て支援）概要

平成17年9月1日（木）午後2時より

区役所本庁舎6階 第三委員会室

出席者 増田まゆみ、福西七重、金澤邦子、海野秀幸、三島知彦、内藤美那子、加藤葉、戸塚陽子、工藤有子、牛込警察署長代理 生活安全課長 澤井義雄、東京都児童相談センター所長 飯山幸雄

1 開 会 福祉部子ども家庭課長

2 部会設置の報告 部会長 増田まゆみ氏

3 議 事

(1) 次世代育成をめぐる現状について

ア 報告事項

(ア) 部会の所管事項について 子ども家庭課長説明

(イ) 重点項目への取組み状況について

・子育て支援サービスの総合的な展開

・多様な保育サービスの展開（待機児童解消策） 保育課保育係主査説明

(ウ) 平成17年度第1回新宿区区政モニターアンケート《速報版》集計結果について（資料1）

(エ) 平成17年度第2回新宿区区政モニター会議（テーマ「子育てをみんなで応援するまちづくり」）で出された意見・要望について（資料2）

イ 質 疑

委員...経済的支援策についての説明があったが、児童手当について所得制限はあるのか。

事務局...国制度と同様の所得制限をいれる。

委員...学童クラブ保護者など、共働きの家庭だと二人合わせると結構な所得になる。

事務局...児童手当は、父母の場合、生計を維持する割合の高い主たる生計者の所得で見る。合算はしない。

委員...フランスは所得制限がない。これからの方向はそうではないか。

事務局...主旨はわかる。国の制度としては、所得制限がない方が好ましいという考えはあるが、区独自で行うには、経費のこともあり、中間所得者層以下に

重点的に支給していくという考え方だ。

委員...計画4 1頁に課題として「子育てサービスの質と量の充実」があるが、質の中身について触れられていない。質の中身が問題。ただ、サービスを提供するだけでなく、(子育てが辛いとか、子育てがたいへんな親が、) 苦しい現状を話してくるようにならなければならない。行政からの働きかけが必要なのではないか。そのような意味でのサービスの質の転換が図れないといけない。一人で悩んでいる親たちに踏み込んでいかなければならない。親のネグレクトも増えている。質の向上に向けての努力で研修等も必要だと考える。

部会長...計画策定の中ではどのように考えてきたのか。

事務局...金澤委員が計画の策定委員をされていたので、ご存知かもしれません。

委員...質の中身ということでは、(策定協議会では)あまりなかった。(子育て親子との対面調査や地域懇談会等をまわり区民の意見を聞いたが)手探り状態でもっと意見を聴きたいと思っていた。

委員...今の問題は行政だけの問題ではない。色々な方が町の中に沢山いた方が良い。「新宿は子育てにやさしいまち」にするため、一人一人をサービスに結び付けていくのは私たちである。

委員...総合相談は担当課だけでなく色々なところでやれるのではないかと。保育園でも、保護者の様々な相談にのっている。例えば、DVで逃げている母親の相談を受け、その経済的負担を軽減してあげたいが、保育園は法律で縛られていて、保育料の軽減もできない。お役所仕事にならない支援をしたい。

委員...計画4 1頁に「総合的な相談窓口の必要性」とある。次世代を計画したのだから区の組織としても一つのものが必要ではないか。

部会長...総合的なという点で説明を

事務局...区の組織や体制という意味では、20頁に、子どもと家庭に関する施策を総合的に進める体制の整備が書かれている。平成21年度までに青少年を含めた子どもと家庭に対する新たなビジョンづくり、就学前の保育や教育についての総合的な取組みなど次世代育成支援を効果的に推進する組織や体制をつくっていくこととなっている。ここで総合的とは、子ども家庭支援センターで行う総合コーディネート事業をさしており、43頁にある地域における子どもと家庭の支援体制のイメージのとおり、子ども家庭支援センターを中心に、施設や相談機関が、子育て家庭を総合的に支援していこうとするもの、虐待防止連絡会や子ども家庭サポートネットワークなど、以前に比べて子ども家庭支援センターでの連携が多くなってきた。

(2) 次世代育成支援推進にあたっての課題について

ア 課題の抽出

(ア) 委員から出された課題について(資料3)

委員...情報が本当に届いているのか疑問。ちょっと地域が見てあげる。応援してあげる。男女とも子育てに気兼ねなく休みが取れるような企業の体質をどうしたら作れるか。300人以上だけではなく300人以下、5~6人の会社のほうがもっと大変なのではないか。

委員...公設民営の富久町保育園の運営と百人町にある新栄保育園を運営している。富久町保育園では、一時保育の専用室を持っているが、その他は空きがあれば受け入れる。このほか、10時までの延長保育、休日保育、新栄保育園では病後児保育などを行っている。特別保育事業を多く実施しているが、長時間等このような特別保育を、出来れば利用しないですむ働き方ができるような社会であったらよい。

一時保育については、10名定員で2ヶ月先までいっぱいである。どのような方が預けているのかというと、幼稚園に入るための慣らしで集団の場を経験させたいとか、離乳食がたいへんなので、保育園の離乳食を食べさせたいとか、子どもに遅れがあるかもしれないけれど、専門機関に行く前に保育園を体験させたいとかである。1、2歳が多く、アレルギーの子も多い。

一時保育室は1室しかないので、年齢の違う色々な子がおり、集団保育に慣れていない子が多いので、泣いている子は結局事務室で預かることになる。

みゆき保育園でも専用室型一時保育を実施しているが、それぞれ実施場所によりやり方が異なる。統一した方がいいという意見もあるが、富久町保育園では月7日まで、2ヶ月前までということで、手続きに慣れた方がリピーターとして、予約してしまうので、結局一杯ということになる。

委員...フランスの子育て支援策に学ぶ勉強会がある。フランスが大きく出生率改善を果たしたのは何かを聞いてくるのでまた報告する。夫立会い分娩の増加や子育てへの参加に増加が見られるが、意識の変化が現実の変化につながっていない。残業ばかりで土日もない生活をしていて、子どもの寝顔しか見られないのはおかしいと転職した人もいる。他方で仕事で全く子育てに関われない父親もいる。子育て参加に批判的な会社の空気もまだ強い。子どもを健全に育てるためには、親の働き方を変えていく必要がある。親をコーディネートするには力が必要である。必要なところで応援していく必要がある。応援していくために部会で親(現場)の声を聞いていく必要がある。

子育て支援最前線の実情や悩みを知ったり、委員同士が日常の意見交換をしたりすることが必要だと思うので、現場見学会の実施やメーリングリストの活用を提案する。

(イ) その他の課題について

委員... 1 妊婦からのサポート、例として妊婦検診の無料化や不妊治療

2 多様な家族構成から生じる問題へのサポート、隙間の支援が必要 一人親への支援。父親がいても子育ては大変なのに、一人親だと本当に大変、精神面でのサポートが必要。発達障害の子が多くなってきている。園等でそれを言われたとき、あゆみの家の前にワンクッション置きたいとやって来る。子の支援だけでなく、親への支援が必要。子どもに向き合う支援 里親、養親、子連れで再婚したステップファミリーなど、血縁のない親子への養育相談・支援などが必要だ。

3 保護者活動への支援、保護者活動の活性化を支援していくことが重要。仕事をしているの活動は大変な面はあるが得るものが多い。親自身の支援にもなる。また、おとうさんの子育て参加の促進にもなる。

4 在宅主婦の社会参加への支援、社会参加の促進や学びの場の仕組みづくりが必要。結婚すると さんのママで終わってしまうのではなく母親でありながら、様々な技術や特技を地域で生かす道筋が必要。

5 区民としての誇りをもち、市民としての未来を担う子どもの生きる基盤をつくる学びの支援、20年後くらいの新宿を考える。

6 新宿の繁華街に集まってくる子への支援、まちに集まる区外在住者も含めた子どもたちへの健全育成の責任。うちの子、よその子ではなく、子どもにやさしい新宿をつくっていく。

委員...親にとって身近なところでの子育て支援が重要である。一人の子どもだけに親の関心が向き、過干渉になっている。子に変な規制をかけるのに、社会的ルールの規制をかけない親が多い。子どもをつくる前から学ぶ場が必要。今は少子化で子どもを抱いたことがない人が多い。早い時期から子どもとのスキンシップを経験してもらうなど、保育園、幼稚園以外でも集団保育の場が必要。妊娠中の親に実物の赤ちゃんを抱かせると虐待に結びつかないと実践しているクリニックもある。タッチケアにより子が親への愛着のない子はいないと言われている。お腹の中にいる頃から啓発活動を地域で行う。

委員...後追いしない子は、発達障害の可能性がある。保健センターがしっかり検診等で見つける必要がある。親に子どもは一人で言いと思わせない。二人以上の必要性を知らせていく。

委員...最近親のエゴで子育てし、行政に頼りすぎている。地域での交流がないので余計にそうなる。地域の人が見知りになり、地域のなかで仲良くなった方が、自分の足元でできるのではないかと。有事のときに本当に助けてくれるのは地域であり、町会ではないかと。盆踊りなど地域の活動に足を向かせることが必要。

委員...自分は様々な活動に係わってきた。地域の活動プラス行政ももう一歩

ここで考えていく必要がある。

(ウ) 課題の絞込みについて

部会長と事務局である程度詰めて提示する。

現場見学会については、希望があれば対応する。

メーリングリストについては、部会ではなく個人対応、賛同できる委員は三島さんにメールを送る。